

第11回碧南市制70周年記念事業世代別会議 会議録

日 時 平成30年6月8日（金）午後7時から午後8時30分

場 所 市役所 2階 談話室2・3

出席者 (1) 若者会議

小川、佐藤、前田、酒井、茶木、小越、竹内、橋本、有馬、神谷、
前重、加藤、市川、亀島、小笠原、田淵

(2) パパママ会議

天野

(3) アドバイザー

穂坂

(4) 若手職員によるシティプロモーションチーム

嶋田、長坂、守川、田中、塩谷

(5) 事務局

生田、中川、小林、平松

傍聴者 1名

内 容

1 会議の進行について

パパママ会議及びグルメ企画班は、白しょうゆ顔コンテストの賞品について検討する。

2 実施企画の検討結果

(1) 白しょうゆ顔コンテストについて

ア 7月13日（金）の世代別会議にて書類審査を実施する。書類審査は、メンバーそれぞれが応募者を1～3位に順位付けし、その結果の上位7名を決勝進出者とする。

イ 元気ッスでのPRブースでは、決勝進出者のうちの3～4名を紹介するPRパネルを用意する。内容は①キャッチコピー（氏名は出さない）②写真及び似顔絵（メンバーが描く）とする。また、配布用のチラシを作成する。

パネル作成のための打ち合わせを7月20日（金）午後3時に実施する。

ウ 決勝出場者に当日飛び込み枠を用意する。当日会場に来られた方の中から3名程度決勝に出場できる方を選出する。選出方法は今後検討。

エ 他薦の場合、推薦者もステージ上に登場してもらおう。いなくても可。

オ 決勝で出場者の登場の仕方については、最初仮面をかぶった状態を出てきてもらい、紹介後に仮面をとる方法とする。仮面は全員統一ではなく、ばらばらも可。

カ 決勝の内容は、特技披露と白しょうゆを持ってポージングとする。

キ 碧南高校にポスターを掲示できないか関係の先生に確認する。可能であれば、手作りポスターにて応募者を募るポスターを作成する。

(2) コンテストの賞品について

グルメ企画班より、商品券、アミューズメントパークチケット、図書券、にんじん1年分、旅行券、一日碧南観光大使、一日碧南市長、ポスターのモデル、自身の写真集、中京テレビ番組出演、キャッチ番組出演などの案が出た。

3 グルメ企画課題検討

ラーメン班、からあげ班（からあげと焼き鳥）、スイーツ班（ドーナツや和菓

子)に分かれ、当日までの課題を洗い出し、事業所と調整する。

▼ラーメン班

ラーメンの内容→スープは1種類、具材を山盛りにしたい
注文の順序→注文を受ける、スープ、麺茹で、具材をのせる
ラーメンの提供→FP 井を使用し、割り箸を渡す。
その他→当日の服装、商品名の検討



▼からあげ班（からあげ・やきとりの2種）

からあげ→紙袋かカップで提供、3個・5個・メガ盛りなど個数のバリエーションを増やす。

焼き鳥→紙袋で提供、碧南のゆるキャラや場所を印刷できると良い。

その他→からあげと焼き鳥のセット販売の検討（料金を安くなど）

のぼり旗といったPR素材が必要

▼スイーツ班（トマトドーナツ・さつまいも蒸しどら・さつまいも団子・トマト大福・さつまいも水まんじゅう・とまと水まんじゅうの6種）

トマトドーナツ→食紅で赤くしてはどうか。色の違うドーナツを使ってくしに交互に刺せばカラフルになるのでは。例えば、にんじんやたまねぎ味などにして色も変える。

→1つを4等分にして串に刺し、紙に包んで販売。

→お持ち帰り用として、レジ袋を用意する。

→プラスチックパック容器を用意（持ち帰りや雨天対策）

さつまいも蒸しどら→ワッフルのように生地を折りたたんで餡をはさむ。

→容器は決まっていない。

さつまいも団子→団子1本にチョコペン1つ。

→パッケージは紙に包むか

プラスチックパック容器。

→チョコペンで書けるコーナーを設ける。



トマト大福→トマトそのものは大福の生地の中に入れる。

→外見ではトマトが分からなくなるためPRをしっかりと。

→もしくは生地を赤くし、緑のへたを模した生地をのせて外見をトマトに似せる。

さつまいも水まんじゅう・トマト水まんじゅう

→和菓子を食べる用の木の和菓子切が必要

その他→スイーツのセット販売の検討（料金を安くなど）

→プラスチックパック容器をスイーツ全般で使えるようにしておくと良い。

→お店からの搬入がどのような形態になるか確認が必要



その他確認

・8月25、26日は参加可能か→7月12日までに報告する。

・当日の人手が足りないため、追加メンバーの声掛けを→7月12日までに報告。

3 第12回世代別会議について

7月13日（金）午後7時から午後8時30分までを予定。会場は市役所2階談話室で開催。